

就任式・始業式 新学期がスタートして、2週間とは思えないような、子どもたちの気合いの入った姿に、1年間の久玉っ子の成長を感じずにはられません。そしてこれから始まる1年間の成長がとても楽しみです。

4月8日。就任式、始業式では、新しい出会いを喜ぶ子どもたちの笑顔がありました。少しワクワクする、そんな中でもきちんとした態度で式に参加することができました。

右下の写真は英会話指導補助の江原先生のお迎いの式です。「よろしくお願ひします」の礼がとてもきれいです。

4月11日。入学式にもすばらしい態度で臨むことができました。お迎えの歌を披露する新2年生、そして緊張しながらも一生懸命参加する1年生、そして式だけでなく、入学式の準備から後片付けまでしっかりがんばる高学年と在校生、そして保護者のみなさま、華を添えてくださった来賓の皆様。そのすべてが奏でるハーモニーが美しい入学式でした。



何事も一生懸命!

学校生活を支える委員会活動も、始まりました。4月14日の集会は、新委員長のおいさつと4月の目標の発表でした。学校をリードする新委員長の頼もしい姿に、子どもたちはあこがれの気持ちも抱いたのではないのでしょうか？

緊張しながらも、新運営委員のみなさんも進行をがんばりました。放送委員会、図書委員会、環境整備委員会、体育委員会、給食委員会、保健委員会、それぞれの活動ももう始まっています。

そして、何と言っても、日々の授業です。やはり、子どもたちの1年間の成長ってすごいですね。確かに違います。先生の話を食べい入るようにつめる子どもたちの表情、学ぶ姿勢がすべての学級で見られます。

これから1年間、学校がある日が約200日、1日5時間と少なく考えても、合計何と1000時間です。

今のこの集中力をもって、学校生活を送れば、子どもたちの1年後はどれほどの成長が見られるのでしょうか、本当に楽しみです。

私たちは、まず何と言っても、この1000時間の授業を、日々の学びを大切にしています。

タマネギ収穫 4月19日。昨年植えたタマネギの収穫をしました。野菜作り名人の四方田さん、野中さん、山下さんにご協力いただき、立派なタマネギをたくさん収穫しました。タマネギの収穫は私も初体験でしたが、すつと抜けるあの収穫の感覚も気持ち良く、子どもたちは歓声を上げながら、収穫を楽しんでいました。久玉小では久玉地区コミュニティ・スクールを始動します。もちろん野菜作り名人の皆様も協議会のメンバーに入ってください。応援を仰ぎながら、ますます、充実したさまざまな活動が期待される久玉小です。



Bigriver's tweet~校長室より~



「これからの学校は、PTAや地域の人の意見に耳を傾け、要望をくみ取りながら決断していくことが必要である。学校の計画や予定等を優先するような考え方ではなく、地域と共につくりあげる学校でなければならない。」これは私がかつて一緒に勤務をさせていただいたある校長先生の言葉です。

久玉小学校は、コミュニティ・スクールの準備が着々と進められています。家庭や地域との連携のもと、地域に開かれた学校づくりに向けて動き出しているのを実感します。

きっかけは、道徳教育用郷土資料「熊本の心」活用事業研究推進校として研究に取り組んでこられた先生方が、自分たちが地域に目を向けずして「熊本の心」を地域や子どもの日常生活と結びつけることはできないという考えからだったようです。

久玉には豊かな自然、史跡、伝統行事が残っています。また、温かい気候や地形を生かした産業が地域の人たちの生活を支えてきました。昨年度、子どもたちは生活科や総合的な学習の時間に地域の伝統文化、食、産業等に触れ、そこで生きる地域の人たちに出会う喜びがありました。農業体験をした6年生はタマネギの収穫をしました。城山散策でふるさとの四季に触れた2年生は晩柑収穫の体験を予定しています。地域学習を展開し、体験で得た実りを今収穫しています。

Bigriver's tweet

そばにいたいよ
きみのために
できることが
ばくにあるかな
いつもきみに
ずっときみに
わらってほしくて

いい言葉は心にひびく

ひとりひとりに、そこにいる意味があると思います。学校、先生、クラス、委員会、部活動、そして家族。あなたを応援してくれている人がいる。その優しさを感じられる人ってステキですね。